

手話の活動をする人 × 市議会

今回は手話の活動をする皆さんにお集まりいただき、手話を始めたきっかけや手話の活動の魅力についてお話を伺いました。

手話をやるときは、よく先輩から「女優になれ」って言われるんですよ

〈手話を始めたきっかけは？〉

■耳の聞こえない方が福祉事務所へ来るとき、何か手を動かして、手話だと知って。手話サークルで始めてみようとして。職場で手話通訳のできる方から、簡単な手話を教えていただいて。子育てが一段落したときに、思い返して講習会に ■卒業後は福祉の仕事をする決めていて、高2の時、学校に手話サークルをつくって。卒業と同時に

に遠のいていたけど、数年前に、もう一回やること

〈始めてみて、どんな感じでしたか？〉

■表情が一つの言語に含まれるので、すごく面白いなとすぐハマりましたね。手話をやるときは、よく先輩から「女優になれ」って言われるんですよ ■ほとんど手話ができない状態でサークルに入って、身振りのような事をやったとき、聞こえない方がとても褒めて

くださったんです。嬉しくて、もっと勉強したいなって ■初めは楽しかったです。覚えることも。勉強を重ねていくと求められるレベルも上がってくるし、奥も深いし、勉強すればするほど責任は重いなと感じてます

〈苦労されていることは？〉

■緊張しやすいんですけど、講師から、ちゃんと伝えられるかどうか、相手のための緊張



写真のハンドサインは「I Love You」を意味する世界共通のサインです。

はいけど、うまく見られたいとか、自分のための緊張は間違っているって言われて ■日々苦労してます。もっと技術を磨かなければいけないと思ってますが記憶力も落ちてきているので、覚えては忘れの繰り返しです ■個人通訳のときは、分かったかなと表情を見ながら、ぼんぼん付け足して手話をやるんですけど、舞台通訳は講演者のスピードで手話をつけていくから、難しいですね

〈手話人口を増やすには？〉

■一人でも多くの市民が手話を覚えて、簡単でいいから表せるといいな。議員さんや市長さんに率先して覚えていただければ ■手話をもっとあきる野市に浸透させたい。市にサークルがあるのも知られてないんですよ ■聞こえない観光客の方に、「ありがとう」だけでも手話でもらえたら。観光地あきる野の一つの魅力にもなるかな

〈市や市議会に望むことは？〉

■職員研修で手話を取り入れてもらえれば ■高齢者が生涯学習で手話をやるうと思つたときに、足がないから行かないという声が多い ■色々な行事、講演会に手話通訳をつけて欲しい ■あきる野市独自の手話言語条例をつくって欲しいですね



参加者の自由で活発な発言を促す観点から、氏名等の掲載は控えています。

● 第2回臨時会議 議案審議 ● 6月定例会議

あきる野市の こんなことが決まりました。

第2回臨時会議 5月8日
6月定例会議 会議期間21日間 6月5日～6月25日

第2回臨時会議の議案は	
委員会提出議案……	1件
6月定例会議の議案は	
諮問……………	1件
市長提出議案……	5件
陳情……………	1件

今号では
この中から
6つを **Pick up**

全ての議案等の内容と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

〈議案第30号〉 あきる野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

Pickup 1 大学生年代の子等に関する新たな 控除が創設されます

大学生年代(19歳～22歳)の子を扶養する親の税負担を軽減する『特定扶養控除』の要件が緩和されます。また、新たに『特定親族特別控除』が導入され、控除が受けられるようになります。

※個人住民税は令和8年度から適用

こんな質問・意見が出ました。

意見

子の年収が103万円を超えると扶養控除が受けられなくなることから、学生のバイト控えにつながっていた。若い世代、子育て世代の支援にもつながるものと考え、賛成する。

具体的にどのように変わるのか。これまで、子の年収が103万円を超えると親は控除を受けられなかったが、年収制限が123万円に引き上げられる。また、特定親族特別控除が創設され、年収が123万円を超えた場合でも、150万円までは63万円の控除が受けられるようになり、188万円までは段階的に縮小はするものの控除が受けられる仕組みが導入された。



〈議案第34号〉 令和7年度あきる野市一般会計補正予算(第1号)

Pickup 2 職員の熱中症対策として、業務用 製氷冷水機の購入などを行います。

労働安全衛生規則の改正により、事業所に対して具体的な熱中症対策を講じることが義務づけられたことに伴い、職員の熱中症の重篤化を防止する環境整備のため、81万2千円を計上します。

こんな質問が出ました。

製氷機を選定した理由は、現場を持つ職場の意見なども聴きながら、衛生委員会でも検討した結果、職員の勤務日や時間にかかわらず、等しく使用できることなどの理由から、1時間当たりコップ約210杯分の製氷ができる製氷冷水機を職員休憩室に設置することとした。

Q 五日市出張所などの外部施設の熱中症対策は。



〈議案第34号〉 令和7年度あきる野市一般会計補正予算(第1号)

Pickup 3 民生委員・児童委員の活動報償費 を増額します。

東京都負担金交付要綱の改正により、民生委員及び児童委員の活動報償費を101万7千円増額します。

こんな質問が出ました。

報償費が増額された理由は、民生委員・児童委員活動報償費は、活動に要した交通費、通信費として支給されるもので、増額は、活動日数が増加傾向にあること、デジタルを活用した新たな活動形態等が増えていることによるもの。

Q 担い手の充足の程度、実態はどのようなになっているのか。

A

民生委員・児童委員の担い手確保は、全国的な課題となっている。市では、町内会長や自治会長への協力依頼や民生委員推薦会委員による候補者の選出を行っているが、町内会・自治会の加入率の減少もあり、役割を担える人の把握に苦慮している。



Pickup 4
「デジタルを活用したこれからの学
び」推進地区事業に必要な経費を計
上します。

東京都の委託事業を活用し、児童・生徒が自ら課題を設定し、振り返りを行うなど、責任を持って行動する力の育成に向け、デジタルを活用した授業を行うため、30万を計上します。

こんな質問が出ました。

新規事業とのことだが、取組内容及びスケジュールは、都教育委員会が教科毎に研究開発委員会を設置し、指導計画等の研究・開発を行う。実践校（一の谷小学校）は、そこで作成される指導計画等の中から数事例を選択し、9月以降にその内の1事例について授業を行うことになっている。

授業を進める上で教師の疑問や悩みに対し、研究開発委員会からサポートはあるのか。



こんな質問が出ました。

都からサポートについての説明はないが、市にも研究開発委員のメンバーがいるので、必要に応じて実践校のサポートをすることは可能。今後、都も支援体制を整えていくものと考えている。

8人で1人の先生が配置されている。1人増えてもオーバーする学校があるが、児童数が増えた場合の対応は。教員の追加配置はないが、転学以外は基本的に年度途中で児童・生徒数が増えることはない。



〈陳情第7―2号〉 障がい者(児)の居場所に関する陳情

Pickup 6
障がい者(児)の居場所に関する陳
情は採択されました。

秋川健康会館に設置の障がい児遊びの広場「なないろ」が閉鎖され、心身が安心、安定して遊べる場所が失われ困っている。早急に代わりとなる居場所を作って欲しいという陳情です。全員の賛成により、採択されました。

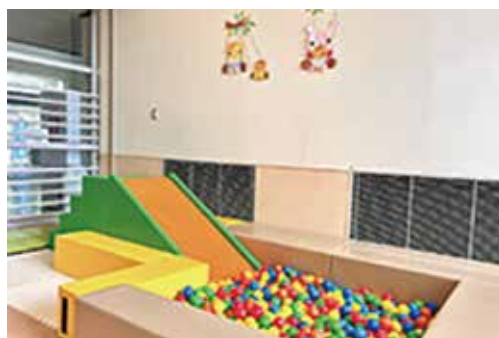
こんな質問・意見が出ました。

意見

様々な特性のため、利用に配慮された遊び場が必要とされていると理解した。市も必要性を認識しているとのことなので、既存の施設の工夫や新たな場所の確保に努めるべきだと考え、採択したいと思う。

A Q

陳情者が求めているような場所の候補地はあるのか。
市の総合福祉センターである秋川ふれあいセンターは設置目的を高齢者、心身障がい者等の福祉の増進及び市民相互のふれあい活動を通じて、地域福祉の向上を図るとしている。障がい児遊びの広場の設置場所の候補として考えられる。



主な議案等に対する会派の賛否一覧

議案等 番号	件 名	議決 結果	自由民主党 志清会 (11人) ※	公明党 (3人)	日本共産党 あきる野 市議団 (3人)	明るい未来 を創る会 (2人)	くさしぎ (1人)	リメンバー (1人)
諮問 2	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	適任と認める	○	○	○	○	○	○
議案 30	あきる野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○ (1人欠席)	○	○
議案 31	あきる野市印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
議案 32	あきる野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	○
議案 33	市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○
議案 34	令和7年度あきる野市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○
陳情 7-2	障がい者(児)の居場所に関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○

※ 議長は賛否に加わらない。

○：賛成 ×：反対

Pickup 5
特別支援学級の増加に伴い、介助
員に係る報酬等を追加します。

小・中学校の特別支援学級数が当初見込みより増加したため、介助員の雇用に要する経費(522万5千円)を計上します。

聞いてみたいな
こんなこと



一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 20人 質問項目 47件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会から」本会議録画中継」を検索するか、スマートフォンやタブレットで2次元コードを読み取りご覧ください。

武蔵引田駅北口土地区画整理事業における清算金について



佐々木 洋子
(くさしぎ)



Q 清算金は地権者の生活設計に大きな影響を与える重要な要素であるが、5年前に間違った清算金予定額を地権者に伝えていたことが明らかになり地権者から疑問と批判の声が上がっている。負担が10万円以上増える地権者は何人か。

A 資料を作成した(株)オオバは間違った金額であることを承知していたはずだが、その額を平気で地権者に伝えていたことについて、市にどう説明しているのか。

A 当時の(株)オオバの説明責任者に確認したところ、小規模宅地の地権者には目安として説明したが、その他の宅地の地権者には積極的に説明していないとの回答だった。一方、同社職員と一緒に説明していた市職員に確認したところ、同社の作成資料を基に、全ての地権者に清算金額を説明したと回答しており、同社の回答と相違がある。

Q 市は今後、(株)オオバにどのような対処していくのか。

A 引き続き調査・確認を行い、その結果を踏まえて(株)オオバの瑕疵の度合いや損害の有無等を確認していくなど、市に対する(株)オオバの責任を明確にする必要がある。



他に原発事故後の除染作業で生じた汚染土の公共事業での活用について質問した。

秋多都市計画道路3・4・6号線等の沿線における都市づくりについて



田村 治光
(自民党志清会)



Q 施工中の秋3・4・6号線の永田橋通り及び秋3・3・9号線の草花大橋通りは、沿線のまちづくりの形成が推進されると期待するが、都市づくりの方向性と具体的な施策展開は。

ていく。

A 同都市計画道路の沿線区域周辺について、意向調査や協議会等の検討体制を構築するなどの取組を推進し、地域の合意形成を図りながら展開に努める。

Q 永田橋交差点周辺の用地買収済の土地について、児童・生徒の安全性の観点から、暫定的な歩道の確保を既に要望しているが、東京都との調整はどうか。

A 児童・生徒等の安全性の観点から課題として捉えており、積極的に働きかけを行うなど、都との連携を密にし、取り組んでいく。

Q 以前に同都市計画道路沿線について、生活利便施設等の誘導の必要性から用途変更について質問したが、その後、用途変更の具体的な方向性と内容はどうか。

他に急傾斜地崩壊対策について質問した。

A 沿道の土地利用や権利者をはじめ、地域の活用意向を把握し、沿道まちづくりを中心に基本的な方向性を取りまとめる中で、都市計画の変更に向けた取組を進め



空き家の利活用による移住・定住の促進について



国松 まさき
(自民党志清会)



Q 管理対象としてだけではなく、住まいの入口としての空き家利活用と移住・定住施策を一体的に進める体制づくりの方針は。

A 地域での共助による空き家問題の意識醸成が必要。地域と話し合いを進めながら、地域の課題や特性を踏まえた支援策を講じたい。

A 移住・定住者のニーズ等の傾向と空き家の調査結果を踏まえ、担当部署と連携し、良質な住宅ストックの活用について調査・研究を進めている。また、フレア五日市での移住・定住施策の取組や観光施策等との連携も視野に入れ、関係部署と調整を図り検討していく。

Q 養沢や小宮地区など、空き家率の高い地域の自治会等と定期的に意見交換の場を設けることが重要。市の方針は。

A 自治会単位での意見交換は必要と感じている。各自治会等と調整を図りながら検討していく。

Q 養沢地区のような地域モデルを他地域に展開する上で、地域住民や民間事業者との連携等の課題にどう対応するかが重要。モデル展開の課題と対策・支援は。



補聴器購入費の助成について



窪島 成一
(自民党志清会)



Q 東京都の高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業により、各自治体独自の補聴器購入費の助成が進められている。聞こえるということはコミュニケーション、危険の回避など、生活の質の維持に大切なもので、認知症発症にも大きく影響するものである。本市において、現在、調査・研究を行っていることだが、現時点での取組状況は。

A これまでに補聴器購入に対し助成している自治体の申込状況や、新たに助成する予定の自治体の補助対象などについて情報収集しており、引き続き、研究している。

Q 高齢者以外の年齢層に対する補聴器の助成等についてはどのようなものがあるか。身体障害者手帳所持者等を対象とした補聴器の購入及び修理に対する給付と、身体障害者手帳の交付対象とならない18歳未満の中等度難聴児を対象とした補聴器購入費用の2つの助成がある。



市道Ⅰ―15号線西側の雨水排水に対する対応について



よしざわゆたか
(自民党志清会)



Q 令和3年9月定例会議において、市道Ⅰ―15号線西側の雨水排水に対する対応について質問してから約4年が経過した。現在までの進捗状況について伺う。

A 市道Ⅰ―15号線西側の雨水排水については、自治会からの要望への対応として、令和2年度に雨水排水の整備改良工事を行っている。しかし、本地域における不透水層が多く分布する特性や、近年多く発生するゲリラ豪雨等を考慮すると、追加工事が必要であると認識しており、雨水の放流先の検討を進めてきた。今般、追加工事の見通しが立ったことから、今後、計画的に工事を進めていく。



他に本市における教員の未配置の状況について質問した。

足の不自由な人や障がい者などの移動手段の確保について



大久保 昌代
(公明党)



Q 最寄りの公共交通機関まで移動が困難で、1か月に何度もタクシーを利用せざるを得ない人は経済的な困窮を訴えている。

A 障がい者や高齢者の移動支援ポータルサイト構築を検討すべきでは。

Q 現在策定中の地域公共交通計画では、社会福祉協議会の福祉移送サービス等を活用した支援体制を検討している。ポータルサイトも含めた支援体制の整備の検討では、送迎サービスの利用者や交通事業者との十分な調整を図る。

Q ポータルサイトで福祉団体との連携・デジタル弱者への対応を促進すべきでは。

A 公共交通の他、福祉や観光等の施策を踏まえることも必要。先進事例を調査・研究しポータルサイトの有効性を検証する。



Q 地域交通サポーター制度導入の考えは。

A サポーター制度は市民が公共交通を自分ごととして捉える仕組み。先進事例を調査・研究する。

Q サポーター制度のモデル地区を設定して実証実験を実施すべきでは。

A 公共交通を支える機運の醸成が必要。成功事例や課題等の調査・研究を行い実証実験の効果を検証する必要があると考える。

他に公共施設でのバリアフリーの拡充について質問した。

秋川溪谷瀬音の湯について



堀江 武史
(自民党志清会)



Q 本市には、市内外に自慢できる国内屈指のアルカリ性単純温泉である秋川溪谷瀬音の湯がある。秋川溪谷瀬音の湯では、イベント等も開催され大変賑わっている。そこで、以下伺う。

AQ 最近の入湯者数は。令和6年度の施設ごとの利用者数は、温泉利用者が22万3155人、宿泊利用者が6264人、直売利用者数が7万9032人、レストラン利用者が5万5806人となっている。

Q 交通費を使って、75歳以上の人が何人も来ていることが分かっている。高齢者が楽しく来ている場所でもあるので、平日限定で市民割を600円から300円にするなどの対応はできないか。経営状況からすると、非常に難しい提案ではあるが、料金改定などの機会に併せて、新四季創造株式会社と協議しながら検討はしたい。



Q 市民割引や各種割引の利用状況は。

A 市民割引が3万5703人、障がい者割引が6568人、各種割引が6万6064人、回数券が3487人。通常の入浴料金での利用者数は、11万1333人。

都立羽村草花丘陵自然公園 ハイキングコースについて



Q 浅間岳から大澄山への入り口にある案内標識が倒れている。案内標識の整備をすべきと思うが、可能か。

A 倒壊している案内標識については市としても承知している。整備については、現在東京都と調整している。

Q 大澄山では、多くの木々が伐採されているという声が寄せられているが、その理由は。

A 都に確認したところ、ナラ枯れが発生するとともに、樹木の枝が近隣の住宅や周辺道路に越境していることから倒木等による被害を未然に防止するための対策と

して都が伐採を行った。

Q 伐採した樹木がそのまま斜面に放置されている。景観が悪いという声もあるが、都は、今後、伐採した樹木を整理していく予定はあるのか。

A 伐採した樹木については、都の予算の都合により搬出することができず、今後処理する予定はないとのこと。なお、樹木を長尺で切断し、積み置きすることで転がり落ちないように安全策を講じているとのこと。

他に市民の困りごと相談、屋外市民プールについて質問した。



医療DXの推進について



代81・5%。

Q 昨年12月から特急発行制度が開始。概要、申請件数は。特に速やかな交付が必要な1歳未満の乳児、国外転入者、紛失者などが対象。申請から最短1週間で交付可能。開始から本年4月末までに223件を発送済。

A 他に読書で心を育てる環境づくり、高齢化の進行とごみ出し支援、子宮頸がん予防の推進、RSウイルス感染症対策について質問した。

Q サービスの利用環境に大きく関わる、マイナンバーカードの年代別保有率は。

A 6月4日時点で76・8%。10歳以下68・9%、10代74・8%、20～30代73%、40～50代77・7%、60～80



下水管の点検について



Q 八潮市で道路陥没事故が発生した。本市における下水管の点検の実施状況は。

A 腐食のおそれの大きい下水管路には5年に1回以上の点検義務があり、その対象である2・82kmとマンホール247か所を令和5年度に点検済。過去に詰まりや不具合のあった箇所を中心に通年点検も実施している。

Q マンホールポンプは汚水の滞留が起こりやすいので注意が必要。マンホールポンプを含めたそれぞれの点検内容は。

A マンホール内の破損・腐食の有無は目視で点検。ポンプの動作確認等を月1回、管路は年1回目視での点検を実施。

Q 下水管の破損から、道路の陥没につながる地盤の空洞化が起きることが考えられる。空洞化の対応は。

A 東京都の調査は内径2m以上の管路が対象。本市では調査していないが、今後、国や都の取組を踏まえ、必要性を考えていく。他に避難所の環境整備、公共交通の充実について質問した。



多摩都市モノレール延伸について



Q 箱根ヶ崎からあきる野方面への構想路線について、国や事業主体である東京都へ建設促進を求めているという理解で良いのか。

A 市長会を通じて、交通政策審議会へ諮問するため国に働きかけを引き続き行うなど、整備路線化に向けた具体的な調整、事業計画の検討を図ることを、都に要望している。

Q モノレールを呼ぼうあきる野の会の市長への要望書をどのように捉え、検討し、どのような取組を行ってきたのか。

A 令和6年度には、都や構想路線沿線の近隣自治体と、市民団体の活動状況も含めて情報交換や意見交換を行った。



観光資源のPR・ブランディング戦略について



ひはら 省吾
(自民党志清会)



Q 市の観光資源に関するPR戦略及びブランディングの方向性について以下、伺う。市制施行30周年に関連した、観光施策の取組は。

A 人文字コンテスト、ARフォトスポット巡りなどを実施し、秋川渓谷の観光情報を発信。また、JR東日本の日市線開業100周年イベントと連携した取組を実施。

A 観光キャラバンの実施、パンフレットやSNSを使った情報発信、観光資源のPRや秋川渓谷のブランド化、地域活性化を進めてきた。

Q 商工会や民間事業者と連携した観光プロモーションの実施状況はいかがか。

Q 現在まで、どのような手法で観光資源の情報発信を行っているのか。

A あきる野商工会や観光協会、観光事業者などで構成する秋川渓谷観光関係機関連絡会では、秋川渓谷のブランド化に向けた観光プロモーションの企画・実施に取り組んでいる。

他に観光と地域住民の共存に関する対策、新型コロナウイルス感染症後の経済回復支援策、市の生ごみ堆肥化の推進について質問した。



公共交通の現状と今後の展望について



村野 栄一
(自民党志清会)



デマンド型交通「チョイソコ」の本格運行が開始した。更なる改善に向け公共交通全体を包含し現状と展望を伺う。

Q 本格運行後のチョイソコの利用状況や市民の反応は。

A 本年4月の運行日数21日で、利用回数447回、利用者数296人。1日平均それぞれで21・3回、14・1人で増加の状況。通院や買い物の際に利用しやすい、外出する機会が増えたなどの意見があった。

Q 市民の意見を反映するための仕組みづくりや、市民参加型の交通政策の取組は。

A 町内会・自治会単位で、意見集約を行う。各種イベントなどを通じて、公共交通の認知度の向上など、市民参加の推進と市民にとっての身近な地域交通の充実を図る。

Q チョイソコの運行区域の拡大時期の目安は。

A 当面は現行の運行区域を基本とし、東秋留駅南口の車両等折り返し場の整備や武蔵引田駅北口駅前広場の整備など、まちづくりの進展状況等を勘案し、市全域のネットワークとして検討。

他に職員の勤務改善と子どもたちの意識醸成、公共施設の利活用と統廃合の見通しについて質問した。



小中学校施設のバリアフリー化について



松本 ゆき子
(共産党)



Q 学校施設は児童・生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場で、避難所ともなる。インクルーシブな社会環境整備が求められているが、障がいのある児童・生徒が支障なく学校生活を送ることができるよう、令和2年5月に、小・中学校施設のバリアフリー化が努力義務になった。

Q 本市のバリアフリー化について実績は。

A バリアフリートイレを設置している学校が16校中8校、スロープを設置した学校と合わせると計11校。

Q 車いす利用の児童にどのような支援を行っているのか。入学前から、児童及び保護者と綿密な調整を行い、必要な環境等の整備を行っている。現在、インクルーシブ教育支援員が常時付き添い、支援を行っている。



Q 学校にエレベーター設置予定がない理由は。

A 学校のバリアフリー化は、公共施設等総合管理計画に基づき大規模改修等の際に計画的に行い、多くの利用者が見込まれるバリアフリートイレやスロープの整備を優先。また、複数の階層に及ぶ教室が使えなくなるようなエレベーター設置は考えていない。

他にあきる野市教育支援室（せせらぎ教室）の給食について質問した。

都市計画道路等の現味の整備状況と今後の見通しについて



清水 晃
(自民党志清会)



Q 秋多都市計画道路3・5・7号線、3・5・2号線及び都道165号線伊奈福生線の現在の整備状況と今後の見通しは。

A 秋多都市計画道路3・5・7号線については、武蔵五日市駅区画整理事業に伴い、一部整備を行っている。今後については、東京都に確認したところ、未整備区間については、用地取得の状況に合わせ、歩道整備工事等を行う予定。秋多都市計画道路3・5・2号線については、今後の整備の在り方を検証するため、沿線のまちづくりが大きく変化していることなどを踏まえ、基礎資料の作成を行い、次期事業化計画の策定に向け都と協議を行っている。都道165号伊奈福生線の整備については、用地買収が完了しており、今後は都が整

備を行うが、埋蔵文化財等の調査後となり、時期は未定となっている。

他に上下水道、橋の架け替えの今後の見通しについて質問した。



小・中学校について



中村のりひと
(明るい未来)



Q 市内中学校において、校則がホームページに掲載されるようになったが、文部科学省「生徒指導提要」では、児童・生徒が校則の意義を理解し、主体的に遵守するようになるためには、制定の背景等を示しておくことが適切であるとされている。現時点で、各校が校則を制定した背景等は示されているのか。

A 現時点でホームページに校則を制定した理由等を明記している学校はないが、校則を見直す際は、生徒会が中心となり、全校生徒が校則の内容を確認、議論する場を設定している。校則の

意義について理解を深め、

生徒一人一人が校則の根拠や背景等を考えられるよう工夫している。生徒指導提要には、校則について、学校の教育目標に照らして適切な内容か、現状に合う内容に変更する必要があるか、絶えず見直しを行うことと示されている。今後、校則を改定する際には、その背景等の掲載を検討するよう各学校に周知していく。

他に公共施設について質問した。



污水处理について



しろうじ さとし
(リメンバー)



となるのか。

本市における污水处理は、下水道事業ありきではなく、合併処理浄化槽を最大限活用する視点が非常に大切であると考ええる。

Q 下水道事業の新たな認可区域としては、菅生地区、切欠地区、乙津地区の3地区が候補として挙げられているが当該3地区を全面的に整備する際、それぞれの区域内の世帯数及び工事費は、概算であるが、菅生地区が350世帯、切欠地区が50世帯、乙津地区が110世帯、工事費は、3地区合計18億円程度が見込まれる。

A 下水道事業は、独立採算制が原則。経費回収率が100%を下回っており、基準外繰入れも、今後、年平均3億5千万円を要するなど、資金に不足が生じており、使用料改定を行う必要があると考えている。今後については、物価高騰などもあるため、費用増による財源不足が生じないよう、長期的な収支状況を踏まえ、5年に一度、使用料改定の検討を行い、必要に応じて適正に使用料改定を実施していきたい。



都市計画マスタープランについて



増崎 俊宏
(公明党)



Q 集約型の地域構造への移行に伴い、公共施設やインフラの再配置や新たな整備が必要となる場面も出てくると思う。その財源確保の見通しと、既存ストックの有効活用について、具体的な考えは。

A 中長期の課題として踏まえた上で、今後の行政施策や財政見通しを再構築する必要がある。

A 秋川高校跡地については産業系市街地の形成を目指している。周辺環境との調和と共生に配慮した産業の誘致や地区内のメタセコイア並木の保全と活用を含めて整備方針を策定する予定である。豊原・早道場地区は今後、地権者との合意形成が必要となるので、現段階では市の基本的な方向性を示す予定。

Q 秋留台東地区の進捗状況はどうか。また、市が関与できることやサポートできることはあるか。

A 本地区は組合施行の土地区画整理事業とされ、現在地権者によるまちづくりの発議がある。市としては助言・指導の他、支援の在り方を検討する。



消防団サポート事業について



子籠 敏人
(自民党志清会)



AQ 現在の状況は。直近2年間で22店舗が新たに登録され、サポート店は5月1日現在で44店舗となり、地域全体で消防団を支える意識が高まっている。

Q サポート事業を行っている自治体の中には、団員の妻や子ども、女性団員のことを意識して、様々な事業所の登録を進めているところがある。本市も進めてほしいと願うが、見解は。

A 子どものいる団員や女性団員の意見、また消防団員だけでなく、団員の家族の意見や考えも含めて、消防団員や家族がサービスを活用したいと考える事業所の拡充を図っていきたい。

Q 優遇を受けられる対象について、現在は団員及びその同居する家族となっているが、これを同居だけでなく、近居の家族にも広げてはどうか。

A 優遇措置を受けられる対象の拡大は、広い意味で有用であると考えている。一方で、近居の家族の範囲など、整理しなければならぬ課題もある。提案を含め、公平感のある、より良い事業にしていきたい。

他にキャンセルポリシー、駅の自由通路について質問した。





天野 正昭
(自民党志清会)



Topics

Q 市内小学校の水泳授業については、会派の最重要施策の一つであり、最近の議会でも会派議員が質問をしている。学校プール施設の老朽化も進んでいる中で、本市の保有する温水プールで水泳授業を行う案も検討している」と理解するが、最新の状況を伺う。

A 令和5年度から7年度において市内小学校延べ4校において、室内温水プールを使い水泳指導を実施した。現在、これまでの成果や課題を整理しているところであり、教育委員会として9月を目途に、外部施設での水泳指導実施の可能性について、見解を示す予定である。

現時点で把握している成果や課題の具体的な内容は、

Q メリットとしては、教員が担っている施設の安全管理や水質の確認作業が不要になり、天候に左右されない授業実施が可能となる。一方、炎天下での徒歩移動や移動時間が割かれること、バスの確保と変更時の調整の負担、教員と外部指導員の連携に要する時間の確保等に課題がある。

A 他に財源確保と地域の魅力発信を両立させる取組について質問した。



No.1

初めての補正予算特別委員会を開催しました

補正予算については、これまで本会議で審議し決定していましたが、補正予算案も当初予算案と同様に審議を深め、より高度な議論の中で決定することが重要と考え、特別委員会を設置することにしました。

【委員長】 子籠敏人
【副委員長】 関口えり子



No.2

あきる野市議会公式Facebook（フェイスブック）を開設しました

市民の皆さんに議会の活動等を分かりやすく伝え、市議会への関心を高めてもらうため、Facebookを活用し、議会等に関する情報を積極的に配信していきます。是非フォローをお願いします。

アカウント名…あきる野市議会



あきる野市議会活動レポート

環境建設委員会 行政視察



環境建設委員会では、5月15日から16日まで、滋賀県甲賀市「生ごみ堆肥化事業」について、大阪府茨木市「次なる茨木ランドデザイン～中心市街地の都市構造～」について視察しました。

福祉文教委員会 行政視察



福祉文教委員会では、4月23日から24日まで、青森県青森市「あおり健康づくり実践企業認定制度」について、宮城県仙台市「学びの多様化」について視察しました。

東京都三市収益事業組合 視察



7月9日に構成自治体の議会として東京都三市収益事業組合への視察を行いました。江戸川ボートレース場内を見学し、担当職員から事業運営等の状況について説明を受けました。

議員市内視察



4月14日に武蔵五日市駅前拠点施設「フレア五日市」を視察しました。担当職員の説明を受けながら、施設を見学しました。